（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんハート遊びリテーション児童デイ原木中山			
○保護者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　3月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	29人	（回答者数）	6人
○従業者評価実施期間	2026年　5月1日	～	2026年　5月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3人	（回答者数）	2人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　5月　31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれの特性にあった個別学習・集団プログラムの提供	季節によってあったプログラムや個々のレベルにあった学習の取り組みや集団プログラムでは個別の学習等で見えた課題を集団活動で補えるような形で内容を個々に合わせて考えて散る。	学習や活動を選択制にするなどおこさんが自ら決めて最後までやりきる、参加することを重きにおいて、お子さんの主体性を伸ばしていく。
2	集団プログラムにおいて、内容が固定化されないような仕組みになっている。	週ごとや月ごとで5領域に合わせてテーマを決め、お子さんが様々な体験ができるように支援内容を考えている。	引き続き、保護者様の要望やおこさんの主体的な気持ちを尊重しながら活動を考えていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等も参加出来る研修会や情報提供の機会が設けられていなかった。	保護者様同士で話す機会や家族支援プログラムなどの機会を積極的に作ることが出来なかった	研修会やペアレント・トレーニングのついては、保護者の要望もあるので開催については午前中の時間や祝日などに検討し、実施していく。
2	地域との交流の機会少ない	周りの施設や保育園等の情報が足りず連携できる施設や団体が把握できていない	周辺地域の情報を収集し地域交流の機会を増やせるよう取り組んでいく
3			